



佐農高だより

～ 汗をかき 人と和して 己を磨く ～

令和6年度 第1号(令和6年4月発行)

佐賀県立佐賀農業高等学校 校長 三原 聖子
佐賀県杵島郡白石町大字福田 1660

TEL 0952-84-2611 FAX 0952-71-5009

<http://www.education.saga-ed.jp/hp/saganougyoukoukou/>



春は新たなスタートの季節。新入生諸君はもちろんのこと、普段やる気がなさそうにしている君も、授業中について居眠りにふけている君も、むくむくとやる気が湧いていることでしょう。本当に春って不思議です。この勢いに乗って、机に向かい、稲を植え、パンをこね、測量機械を視準する。ボールを追いかけて、コートを走り回る。春は短いです。春の波に乗って、真新しい日々を過ごしましょう。

令和6年度スタート



4月8日(月)、始業式が行われ、新年度が始まりました。新しくお迎えした三原聖子校長先生は式辞で、今年130年目という節目を迎える本校について「佐賀農業高校は豊かな農地と専門技術が引き継がれています。これは100年以上にわたって守ってこられた先輩方のおかげで、先人の努力に感謝なくてはなりません。誇りに思い、次へとつなげていきましょう」と述べられ、「3年生は進路決定、2年生は新しいことへの挑戦、それぞれ時間を大切に一生懸命取り組んでほしい」と力強く激励されました。また「三角形の内角の和がなぜ180度なのか」と問いかけられ、その証明の方法の一つとして、用意させていた三角形の紙を破って示され、「考えることは大切です。何をなすべきか、何をしたいのか、またなぜなのかをしっかりと考える習慣を身につけてほしい」と生徒諸君を鼓舞されました。

退任式・新任式

3月22日(金)は修了式と同時に退任式が行われました。先生方は佐農に勤務されての思い出や最後に伝えたいことを述べられました。「この7年間、楽しかった。仕事なので苦しいことも辛いこともあるが、一言で言うと『楽しかった』。(米倉英史先生)」、「気づくか、気づかないか。それをやるか、やらないか。そしてそれを続けるか、続けないか。(永尾脩先生)」、「実習を一番大事にしてほしい。(熊崎知行先生)」、「真剣に話を聞いている姿を見て、いい学校だなと改めて思った。(内田美穂先生)」、「自分に向けられる厳しい言葉を大切にしてほしい。厳しい言葉には自分を磨くヒントがある。悔しいけれど、自分にはわからなかったけれど、当たっている。(外戸口良文先生)」・・・慣れ親しんだ先生方とお別れするのは寂しいものです。先生の言葉や思い出を心の中に大切にしまっておきましょう。

そして新年度開始の4月8日(月)には、新たに赴任してこられた先生方をお迎えする新任式が行われました。

昨年度まで4年にわたって佐賀農業高校を導いてこられた第39代校長の外戸口良文先生は、管理職としての務めを終えられ、今年度は農場長として3学科をまとめ、環境工学科で教壇に立たれています。

退職の職員 田久保雄二先生 夏秋 葵先生

転出の職員

笠原 幸先生 平川幸子先生 立石賢也先生
米倉英史先生 永尾 脩先生 熊崎知行先生
石川悟至先生 内川 瞳先生 松尾尚弥先生
福田和樹先生 内田美穂先生 松永ゆかり先生
中村まどか先生

転入の職員

三原聖子 校長先生 久野久仁恵先生
永尾正明先生 小城典隆先生 大串佳代先生
重富ひかる先生 百武啓文先生 坂口夢依先生
大坪文先生 副島宗晃先生 高原浩昭先生
平石景子先生 高嶋里穂先生



入学おめでとう

4月10日(水)には入学式が行われました。三原校長先生は式辞で、「自分を大切にしてほしい。志を持ってほしい。失敗を恐れず挑戦してほしい。」と新入生に対する期待を述べ、激励されました。続いて PTA 会長の藤永実氏が「カッコいいと思うところを、今から出会うすべての人から探してみてください。心の中に蓄えておけば、将来、このたくさん見つけた事を自然と行動に移しているカッコいい大人になっています。焦らず、自分のペースでいろいろなことにチャレンジし、一つずつ階段を昇って行って下さい。」と心のコもったご祝辞を贈って下さいました。



式辞



祝辞

そして、新入生を代表して環境工学科の野中丈太郎さん(鹿島東部中)が「本校生徒としての自覚と誇りをもって勉学に部活動に一生懸命励むことを誓います」と堂々と宣誓しました。生徒会長の佐保朱音さん(思斉中)が「部活動、資格、生徒会、挑戦の機会はたくさんあります。たくさん、いろいろなことに挑戦して下さい。」と歓迎の言葉を述べました。



宣誓



歓迎の言葉



美術部による黒板絵画

新年度人事

	農業科学科	食品科学科	環境工学科	学年主任	学年団
学科主任	永尾(農)	川内(食)	江原(環)		
1年	担任	江副(農)	宮地(数)	江原(環)	久野(国)
	副担任	重富(農)	川内(食)	大串(環)	
		百武(農)	山口(食)	岡本(環)	
2年	担任	内田(保体)	谷丸(食)	永淵(環)	栗山(英)
	副担任	栗山(英)	飯盛(保体)	松尾(国)	
		井上(農)	小形(食)	辻丸(環)	
3年	担任	永尾(農)	神田(社)	平野(保体)	神田(社)
	副担任	片山(国)	村橋(食)	本山(数)	
		荘口(農)	中園(食)	池田(環)	

校務分掌	主任	副主任
教務部	杉谷	本山
農務部	外戸口	川内
	農業クラブ	大串
生徒指導部	田川	松尾
	生徒会	飯盛
進路指導部	小城	古家
保健部	宮原	片淵
PTA運営部	本山	村橋
事務部	鷲崎	渡島

総合的な探究の時間 発表会 (旧1年生)

昨年度末の3月15日(金)には、1年生が1年がかりで取り組んだ総合的な探究の時間の発表会が行われました。地域の問題を見出し、改善策を考えるこの授業。夏休みには校外へ調査に出かけ、解決すべき課題を見つけ、自分なりに策を出します。やってみると、探究するテーマを決めることがまず難題で、一体自分は何を調べたらいいのかに悩みました。この日は、各クラスでの発表会の結果選ばれた10名が、内容にさらに磨きをかけて発表しました。

	氏名	学科	テーマ	分野
最優秀賞	香月 沙菜	F	「白石町で海外の食品ロス対策を実践するにはどうすればよいか」	環境
優秀賞	廣橋 優	F	「外国人が仕事や生活の上で日本語に困らないよう手助けする方法」	人口
	濱下 優斗	E	「若者が住みたいまちづくりのために」	人口
優良賞	中尾 妃花里	A	「有明海の海苔を守るには」	環境
	向井 穂乃佳	A	「鹿島市で花をもっと広めるにはどうすればよいか」	農業
	森 ひなた	A	「佐賀県の児童生徒がタブレット・PCを活用できるようになるにはどうすればよいか」	教育
	多久島 夏花	F	「武雄市の活性化するためにはどうすればよいか」	産業
	鳥屋 妃奈乃	E	「小城市の災害による被害を減らすためにはどうしたらよいか」	防災
	市丸 真二	E	「武雄市の産業をよりよくするために」	産業
	宮原 亮輔	E	「佐賀県の人口減少を抑えるためにはどうしたらよいか」	人口

新しい仲間

3月10日、佐賀農業高校にメスの仔牛が生まれました。お母さんは「みつこ」で、「すい」と名付けられました。出生体重は40キロ。まだ見ていない人は是非見に来て下さい。かわいいですよ。



5月行事予定

1日(水) 農業クラブ県連総会	16日(木) 服装頭髪指導 内科・歯科検診(1年)
2日(木) 開校記念(歌垣山ハイキング)	17日(金) 農業クラブ校内発表大会
10日(金) 農業クラブ・生徒会総会 未来さが農業塾入塾式	19日(日) 危険物取扱者試験、測量士補国家試験
11日(土) PTA総会	23日(木) 高校総体壮行会
14日(火) 中間考査(2,3年)	24日(金) 高校総体(5月27日まで)
15日(水) 中間考査(全学年)(16日まで)	29日(水) 耳鼻科検診(1年、該当者)
	30日(木) 内科・歯科検診(3年)

編集後記 昔、外食は特別なものでした。小1の時住んでいた宇都宮では、東武ホテルの13階のレストランが、雰囲気がよくて大好きでした。食べるのは決まって「仔牛のステーキ」。幼かったので親の懐もお構いなし。反省しています。姉はいつもグラタンを食べていました。大人になって、本当は仔牛のステーキが食べたかったのだと知ったときは驚きました。 K